



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月13日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	14,813	△0.8	781	△42.0	705	△48.4	369	△55.7
2020年8月期第1四半期	14,928	10.5	1,345	33.8	1,367	52.0	833	66.4

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 445百万円(△38.0%) 2020年8月期第1四半期 718百万円(47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	15.82	14.02
2020年8月期第1四半期	34.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	51,261	17,625	34.4
2020年8月期	53,392	17,763	33.3

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 17,625百万円 2020年8月期 17,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	17.00	—	40.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,300	5.7	2,750	△16.3	2,450	△27.3	1,350	△34.6	57.84
通期	71,800	19.2	8,300	47.8	7,750	33.0	4,400	160.7	188.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年8月期1Q	23,980,000株	2020年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	639,782株	2020年8月期	639,745株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年8月期1Q	23,340,218株	2020年8月期1Q	23,976,425株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年9月1日～2020年11月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響については新規感染者数の再拡大の傾向もみられ、先行きは不透明な状況が続いております。同様に、世界経済においても各国において厳しい渡航制限等の感染症対策を継続しているものの、欧米を中心に依然として新規感染者数の拡大が続いており、厳しい経済環境が続いております。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、前年の消費税率引き上げの反動もあり、足元では依然としてマイナスの傾向が続いております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化及びデジタルトランスフォーメーションの推進などの取り組みを進めてまいりました。国内アイウェア事業においては、店舗で待ち時間なく商品を受け取れる新サービス「CLICK&GO」を開始し、また店舗開発につきましては、都心でのショッピングを避ける傾向も見受けられることから、より生活圏に近い立地への出店を進めるなど、新しい生活様式に対応した取り組みを進めてまいりました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は160百万円となりました。

店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアイウェアショップの店舗数は、国内425店舗、海外210店舗(中国167店舗、台湾32店舗、香港6店舗、米国5店舗)の合計635店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高はアイウェア事業は各国での新規出店等により伸長しているものの、雑貨事業の撤退による影響もあり14,813百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益はコンタクトレンズ「JINS 1DAY(ジズ ワンデー)」のTVCM等により広告宣伝費が増加したこと等により781百万円(前年同期比42.0%減)、経常利益は705百万円(前年同期比48.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は369百万円(前年同期比55.7%減)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	11,696百万円	79.0%	3.1%
海外アイウェア事業	3,117百万円	21.0%	2.6%
合計	14,813百万円	100.0%	△0.8%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 合計の前年同期比増減には雑貨事業から撤退した影響が含まれております。

(国内アイウェア事業)

国内アイウェア事業につきましては、あらゆるパーツを軽量化したエアフレームの最上級モデル「Ultra Light Airframe」の売上が好調だった他、TVCM等の広告施策を展開したコンタクトレンズ「JINS 1DAY(ジズ ワンデー)」の無料お試しキャンペーンが好評を博しました。新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、海外渡航者の入国制限が継続していることからインバウンドの売上が大きく減少し、また、とりわけ都心を中心とした繁華街への往来を避ける傾向が続いており、業績への影響を注視しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は425店舗(出店14店舗、退店4店舗)となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高11,696百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益558百万円(前年同期比52.0%減)となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国、台湾においては、政府による新型コロナウイルス感染症の対策が功を奏しており、業績は順調に推移しております。

香港においては、政情不安によるデモ騒動の影響は沈静化しつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷からも回復基調にあります。業績はこれにより順調に回復しております。

米国においては、出店しているカリフォルニア州を中心に新型コロナウイルス感染症の拡大が継続しております。EC販売に注力しているものの、店舗は全店で営業を再開しましたが大幅な入店制限を余儀なくされております。

店舗展開につきましては、中国167店舗(出店6店舗、退店1店舗)、台湾32店舗(出店2店舗、退店なし)、香港6店舗(出店、退店なし)、米国5店舗(出店、退店なし)の合計210店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高3,117百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益222百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

なお、雑貨事業につきましては前連結会計年度末をもって撤退しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2020年8月期末 (2020年8月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (2020年11月30日)	増減	増減率(%)
総資産	53,392	51,261	△2,131	△4.0
負債	35,629	33,636	△1,993	△5.6
純資産	17,763	17,625	△137	△0.8

(イ)資産

流動資産は、33,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,832百万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が2,166百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、17,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円減少いたしました。

以上により、総資産は、51,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,131百万円減少いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、11,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,758百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が1,828百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、22,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少いたしました。

以上により、負債合計は、33,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,993百万円減少いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、17,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益369百万円を計上したものの、配当金の支払いにより583百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2020年10月9日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,667	22,501
受取手形及び売掛金	4,484	3,810
商品及び製品	4,344	5,116
原材料及び貯蔵品	241	307
その他	1,366	1,535
流動資産合計	35,104	33,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,274	7,351
その他(純額)	1,893	1,893
有形固定資産合計	9,168	9,245
無形固定資産	2,240	2,162
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,317	4,232
その他	2,561	2,349
投資その他の資産合計	6,879	6,582
固定資産合計	18,288	17,989
資産合計	53,392	51,261

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	2,089
短期借入金	1,753	1,811
1年内返済予定の長期借入金	1,064	1,063
未払金及び未払費用	4,296	4,447
賞与引当金	49	64
未払法人税等	2,175	346
資産除去債務	47	—
その他	1,705	1,256
流動負債合計	12,838	11,080
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,211	20,192
長期借入金	294	263
資産除去債務	517	518
その他	1,767	1,581
固定負債合計	22,791	22,556
負債合計	35,629	33,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	16,622	16,407
自己株式	△5,002	△5,002
株主資本合計	18,050	17,836
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△287	△211
その他の包括利益累計額合計	△287	△211
純資産合計	17,763	17,625
負債純資産合計	53,392	51,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
売上高	14,928	14,813
売上原価	3,277	3,047
売上総利益	11,650	11,766
販売費及び一般管理費	10,305	10,985
営業利益	1,345	781
営業外収益		
受取利息	1	20
受取手数料	19	9
受取賃貸料	1	1
為替差益	45	1
還付消費税等	76	—
補助金収入	—	19
その他	6	10
営業外収益合計	150	63
営業外費用		
支払利息	42	40
支払手数料	1	0
不動産賃貸費用	70	81
開業費償却	8	—
その他	6	16
営業外費用合計	128	139
経常利益	1,367	705
特別損失		
固定資産除却損	65	15
減損損失	—	27
店舗閉鎖損失	6	1
特別損失合計	71	44
税金等調整前四半期純利益	1,296	660
法人税、住民税及び事業税	402	94
法人税等調整額	59	197
法人税等合計	462	291
四半期純利益	833	369
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	833	369

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	833	369
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△115	76
その他の包括利益合計	△115	76
四半期包括利益	718	445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718	445
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,341	3,036	549	14,928	—	14,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	6	—	128	△128	—
計	11,463	3,043	549	15,056	△128	14,928
セグメント利益又は損 失(△)	1,163	228	△46	1,345	—	1,345

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,696	3,117	14,813	—	14,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	2	123	△123	—
計	11,817	3,119	14,937	△123	14,813
セグメント利益	558	222	781	—	781

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失27百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末において「雑貨事業」から撤退しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、2020年の年末に向けて状況が改善すると仮定しておりましたが、依然として感染症の影響が長引いております。

今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当連結会計年度の下期にかけて状況が改善すると仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。